

ドクター通信

15

小さな子どもの病気の見分け方

市立総合病院小児科部長 高橋 義博

子どもの病気の特徴の一つに進行が早いということがあります。大人のように明日まで様子を見てみると、手遅れになることもあります。また赤ちゃんなど小さな子どもは、自分でどこが具合悪いかを話してくれません。多くはただ泣くだけで、家族にとっては特に夜中の場合、どうしてよいのか分からず、不安になるのは無理もないことです。そこで今回は、どんなときに急いで病院に行く必要があるか、どんなときに朝まで待ってからでもよいのか、その見分け方などについてお話ししたいと思います。

みだんから

注意したいこと

病気の前兆、程度を判断するために、次のことに注意してください。

- ①機嫌：良いか悪いか。
- ②泣き方：お乳を欲しがるときやおむつが汚れたときの泣き方かどうか。
- ③顔つき：蒼白、無表情など。

こんなとき

すぐ病院に

- ④体温・呼吸の具合：発熱の程度、苦しそうな呼吸かどうか。
- ⑤食欲：あるかないか、吐いていればその内容。
- ⑥便通：便秘、下痢、血便など。
- ⑦裸にしてみる：けが、発しん、おむつかぶれ、おなかの状態（異常に膨らんでいないか）。いずれも簡単なことばかりですが、子どもの異常の早期発見のポイントになりますから、注意して観察してください。

- 熱が高いのに顔色が悪い。高熱が続く、ぐったりしている。
- 唇の色が青く、いつもより体温が低い。
- いつもと違う激しい泣き方。異常に泣き方が弱い。
- ぐったりして眠ってばかりいる。
- 目つきがおかしい。けいれんが続く。
- せわしい呼吸。うなりながらの呼吸。
- 吐き気や下痢が続く皮膚や舌

家庭での主な常備品

- が乾いている。
- 腸重積（吐き気・血便・激しく泣く）が考えられるとき。
- 体温計・解熱剤・氷まくら・浣腸剤など。

体温は、家庭ではおおよそ分かればよいので、じっとしていることが難しい子どもには、短時間で計れる電子体温計が便利です。多少熱が高くても機嫌がよければ心配ない場合が多いので、氷まくらを用いたり、氷のうをガーゼなどで包み脇の下や足の付け根を冷やしてみてください。またかかりつけのお医者さんから、子どもの年齢や体重に見合った解熱剤を処方してもらうこともよいでしょう。

逆に熱がさほど高くないのに、あやしても笑わず無表情であったり、顔色が悪いか苦しうにしている場合は、何か大きな異常が迫っている可能性があります。便秘による腹痛では、浣腸でケロッと治ることもありませんが、血便が出るようでしたら腸重積の可能性がありまますので、すぐに病院に行ってください。

特に小さな子どもは、日ごろみているお母さんが全身の状態で判断し、早く異常に気がつくことが大事です。それが病気を早く治すことにつながるのです。

守りたない。。。。残したない。。。。並木・名園・名木④

浄應寺の枝垂桜

- 所在：大館市宇大館5
- 所有者：松榮山浄應寺（管理者：菅田 和人氏）
- 由来・特色

浄應寺は、明応年間（一四九二～一五〇一）蓮如の法弟菅田道願の開創。元立杭村（片山の北東長木川沿い）にありましたが、慶長十三年（一六〇八）浅利氏の残党の謀反の動きを同寺の住職玄正和尚が説得して断念させた功により、慶長十五年（一六一〇）正式に大館城代として大館に入城した小場義成氏（三代城代から佐竹氏と改姓）の命で、現在地に移転したものです。同寺の枝垂桜は、三代目住職が京都から枝垂桜の枝を持ってきて、同寺にあったソメイヨシノに接ぎ木したという説もありますが、寺伝では文禄四年（一五九五）の植樹となっていますから、移転前から植栽されていたこととなります。寺を移転する際に枝垂桜も移植しました。現在門前にある枝垂桜は、移植した木が育つ心配されたため、寺の移転前からあったソメイヨシノに接ぎ木したもので、指定された枝垂桜の子にもあたります。

推定樹齢は約四百年、これほどの桜の老樹は珍しく、枝ぶりから見たその姿は、古の老賢人をほうふつさせるものがあります。ふるさと探訪並木名園名木保存事業の標柱も立ち、枝垂桜の貫録も更に増したような気がします。

一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。花の咲く五月上旬が見ごろです。

※見学はご自由に。

